

# プレス公表（運転保守状況）

2022年9月8日  
東京電力ホールディングス株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

発生日

2022年8月17日

号機

5

件名

原子炉建屋1階ケーブルトレイ貫通部からの空気の流れの確認について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2022年8月16日午前11時11分頃、巡視点検中の当社運転員が、地下1階の非管理区域にある高圧電源盤室において、当該電源盤室と地下2階の管理区域エリア（通路）を貫通するケーブルトレイと貫通部の隙間より、管理区域側から非管理区域側へ空気が流れていることを確認いたしました（1か所）。また、8月17日、当該電源盤室を調査した結果、空気の流れがある箇所を新たに3か所確認いたしました。

## 【対応状況】

ケーブルトレイ周辺、貫通部および管理区域内の空気について放射能測定を実施した結果、汚染がないことを確認いたしました。なお、当該貫通部については、養生テープやシール材による閉止処置が完了しており、空気の流れは止まっております。また、全号機の高圧電源盤室内の類似箇所を調査した結果、同様な空気の流れは確認されませんでした。

8月23日までに当該部にシール材を充填し、補修を実施したが、手をかざすと僅かに空気の流れがあることを確認いたしました。今後、空調のエアバランス調整や定期的な漏えい確認、補修方法の検討を進めてまいります。なお、当該エリアは二重扉の外で汚染の可能性が低い場所であり、放射能測定を実施した結果、汚染がないことを確認しています。

（2022年8月25日までにお知らせ済み）

現在、本事案を受け、同様な箇所がないかの調査を行うべく検討を進めており、まとめ次第、調査を進めてまいります。

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年8月24日

号機

7

件名

タービン建屋屋上エリア（非管理区域）における体調不良者（熱中症）の発生について  
（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2022年8月23日午前10時30分頃、7号機タービン建屋屋上エリアにおいて現場調査に従事していた当社社員が、体調不良を訴えたことから、午後0時4分に業務車で病院に搬送されました。  
なお、本人に意識があることを確認しています。

## 【対応状況】

病院での診察の結果、「熱中症」と診断されました。当該社員は、点滴の治療を受け、帰宅しております。  
発電所関係者へ業務開始前の体調確認や、休憩、適度な水分および塩分等のミネラル補給を心がけるよう、あらためて注意喚起を行います。

（2022年8月24日までにお知らせ済み）

②

# プレス公表（運転保守状況）

発生日

2022年8月31日

号機

3

件名

油漏えいに伴う低起動変圧器の停止について（区分：Ⅲ）

## 【事象の発生】

2022年8月30日、3号機屋外変圧器エリア（非管理区域）において、低起動変圧器<sup>※</sup>の錆取り作業中に当該変圧器の点検口の蓋から絶縁油の漏えい（滲み程度）を確認しました。その後、漏えいが継続していることから、漏えい箇所の補修のため、当該変圧器を停止いたしました。なお、漏えいしている絶縁油は適宜拭き取りを実施しており、外部への流出はなく、環境への影響もありません。

## ※低起動変圧器

プラント停止中において所内電源へ電力を供給するための設備。

（2022年8月31日までにお知らせ済み）

③

## 【対応状況】

漏えい箇所での絶縁油の滲みが継続していたことから、漏えい箇所の補修（シール材での漏えい箇所の閉止）を実施しました。そのことを踏まえて、9月6日に変圧器を起動した状態での漏えい状況を確認したところ、極めて微量（触れると油分を感じる程度）の油の滲みを確認したことから、当該変圧器を停止しました。現在、シール材の塗布範囲や塗布方法を見直し、補修を行っているところです。

## 【参考】プレス公表 継続対応件名リスト

---

号機	6	件名	非常用ディーゼル発電機（A）からの油漏れについて（区分：Ⅲ）	発生日	2022年3月18日
----	---	----	--------------------------------	-----	------------